

令和3年度 編入学予定者を対象とした準備学習

(6月内部推薦選考・内部学力選考および10月一般選考用)

本学では、編入学予定者に、編入学までの期間を利用して各学科・専攻からの準備学習に取り組んでもらうことにしています。また、各学科・専攻からの連絡事項もあわせて記載されていますので、よく確認をしてください。詳細については、以下を参照してください。なお、準備学習等に対する質問は、11ページに記載されている各研究室にお問い合わせください。

※令和3年度編入学試験の募集がない学科も掲載されています

編入学予定の 学部・学科・専攻		各学部・学科・専攻からの準備学習等
家政学部	被服学科	<p>① 被服学科の4年間のカリキュラムは基礎から専門へ向かう連続性を重視しています。したがって3年次以降は、主に2年次までの修得済必修科目の知識・技能をベースに展開することとなりますので注意してください。被服学科2年次までの必修科目は、</p> <p>●1年次：「繊維科学」、「色彩学」、「アパレル概論」、「日本服飾文化史」、「西洋服飾文化史」、「和服製作I」、「アパレル製作I」</p> <p>●2年次：「被服材料学」、「被服材料学実験」、「基礎デザイン」、「衣生活文化論」、「被服体型学」です。これらの科目内容はWeb上のシラバスで公開されていますので、特に用語などをしっかり理解しておいてください。また、授業内で使用する教科書や参考書が記されている科目も多数ありますので、各自、それらの全てを入手して編入学までに十分、読み込んでおいてください。</p> <p>② ゼミ配属については、ホームページ、シラバスなどを合わせて確認の上、受講希望分野を検討しておいてください。後日、学科の教員と相談しながらゼミナールを決めます。</p>
	食物学専攻	<p>栄養士としての専門知識や技術を身につけるために、短期大学で学んだ専門教育科目を十分に復習してください。栄養士実力認定試験問題は6割以上正解できるように復習しておいてください。3年次には、ゼミ（食物学演習、卒業論文）を決める必要があります。卒論発表を聞き、どのような分野のゼミを選択したいのか考えておいてください。</p>
	食物学科 管理栄養士専攻	<p>栄養士としての専門知識や技術を身につけるために、短期大学で学んだ専門教育科目を十分に復習してください。栄養士実力認定試験問題は6割以上正解できるように復習しておいてください。管理栄養士免許証を取得するための試験を控えているので、国家試験で出題範囲が広く難しい分野である生化学を含む栄養学、食品学、人体の構造と機能・疾病の成り立ちなどを十分理解しておいてください。3年次には、ゼミ（食物学演習、卒業研究または卒業論文）を決める必要があります。卒論発表を聞き、どのような分野のゼミを選択したいのか考えておいてください。</p>
	児童学科	<p>入学予定者には10月以降に課題を送りますので、取り組んでください。3月に予定されています編入学生対象学科ガイダンス時にレポート等の提出を求めます。</p>
	ライフデザイン学科	<p>ライフデザイン学科は生活全般について幅広く学ぶ学科です。</p> <p>①新聞やテレビのニュース・ドキュメントなどを通して、世の中の動きに関心を持つようにしてください。さらにそれらの背景や原因について考えるようにしてください。</p> <p>②ライフデザイン学科のホームページ[http://www.home.otsuma.ac.jp/life/index.php]に、課題・推薦図書に掲載しています（メニューバー→「課題・推薦図書」）。ライフデザイン学への理解を深めるために読んでおいてください。</p> <p>③学科のゼミについてホームページ等で確認し、自分の関心あるゼミを複数選び、ゼミのテーマに関連する図書を講読して自分の考えをよく整理しておくようにしてください。ゼミ配属については編入学後に教員と相談しながら決定します。その際、必ずしも希望のゼミに入れるとは限りません。</p>
文学部	日本文学科	<p>①「文学史」についてはテキスト等で勉強しておいてください。</p> <p>②「古典文法」についてはテキスト等を復習し、古文の読解力をつけておいてください。</p> <p>③「漢文」についてはテキスト等で、特に「句型」を中心に復習しておいてください。</p> <p>④「日本史」についてはテキスト等を復習し、日本の歴史を理解しておいてください。</p> <p>⑤ゼミ説明会については、内部推薦選考の編入学予定者は後期に説明会が開催される場合は参加し、一般選考の編入学予定者は別途教務委員より連絡します。</p>

編入学予定の 学部・学科・専攻		各学部・学科・専攻からの準備学習等
文学部	英語英文学科	<p>① 英語のスキル・アップ 英語のオールラウンドなスキルの基礎として、読解力の向上・文法の理解・語彙の拡大を続けてください。次のような教材に取り組むことをお勧めします。 ・Penguin Readers、Macmillan Graded Readers、Oxford Bookworms などの、graded readers (難易度のレベルを段階的に分けた多読用読物) のレベル 3 以上の中から 5 冊以上を読んでください。大型書店で入手可能です。 ・Raymond Murphy, <i>English Grammar in Use: Intermediate</i> (Cambridge U. P.) などの英文法演習問題集に取り組んでください。 ・『DUO 3.0』(アイシーピー) などの単語集で語彙の確認と強化を図ってください。</p> <p>② 専門領域への導入 英語・英米文学・英米の文化・英語教育などの専門研究への関心を高めるために、入門的な本をたくさん読んでください。例えば以下の本など。 <イギリス分野> コリン・ジョイス『「イギリス社会」入門-日本人に伝えたい本当の英国』(NHK 出版新書) <アメリカ分野> 池上彰『そうだったのか! アメリカ』(集英社文庫) <英語学分野> マーク・ピーターセン『日本人の英語』(岩波新書) <英語教育分野> 白井恭弘『外国語学習に成功する人、しない人』(岩波科学ライブラリー)</p> <p>③ 所属ゼミについての情報を集める ・ゼミ受講希望調査の日程(11月)に留意してください。 ・ゼミの内容については、文学部英語英文学科のホームページ等を参照してください。</p>
	コミュニケーション 文化学科	<p>学科では、外国語の専修(英語専修と中国語専修)を選択する必要があります。自身が選択しようと考えている外国語の運用能力を磨いておいてください。 編入学後は、3年生から卒業研究のゼミに配属されることになります。学科のホームページや合格後に学科から配付される資料(卒業研究担当教員の指導可能分野)を参考に、どのような分野で卒業研究に取り組むのかを検討しておいてください。</p>
社会情報学部	社会生活情報学 専攻	<p>編入学後の勉強を深めるため、以下の推薦図書から興味のあるものを読むようにしてください。レポート等の提出は必要ありません。また、新聞を読んだりニュースを見たりして、社会への関心を高めるように心がけてください。</p> <p>① 岡嶋裕史 著 『ビッグデータの罠』新潮選書 1,100円+税 ② 福井健策 著 『著作権の世紀-変わる「情報の独占制度」』集英社新書 720円+税 ③ 小林慎太郎 著 『パーソナルデータの教科書』日経BP社 1,300円+税</p>
	社会情報学 環境情報学専攻	<p>環境情報学専攻では、専門科目の中で、社会科学と自然科学の両面から環境を考えていきます。そのため、編入学までに以下の点を中心に、総復習をしておいてください。なお、レポート等の提出は必要ありません。</p> <p>① 今までの専門が主に文科系だった人は、自然科学系の分野についても勉強しておきましょう。環境の勉強をするうえでは、特に生態系や物質の性質などの分野が大切です。 ② 逆に、理科系だった人は、社会科学系の分野についても勉強しておきましょう。特に近年の日本や世界を巡る状況をよく勉強しておいてください。 ③ すべての勉強の基本は国語です。国語力を高める方法の一つとして、本や新聞などをたくさん読んでおきましょう。本の分野や題材は問いません。 ④ 編入学後は、3年次から始まるゼミに配属されます。専攻のホームページ等を参考に、ゼミについての情報を集めておきましょう。</p>
	情報デザイン 専攻	<p>情報デザイン専攻のホームページに課題の情報を載せた入学予定者向けのページを設けます。そのページを見ていただき課題に取り組んでください。 ホームページアドレス https://www.sis.otsuma.ac.jp/dept3/index.php</p>

編入学予定の 学部・学科・専攻		各学部・学科・専攻からの準備学習等
人間関係学部	社会学専攻	<p>以下の課題図書の中から1冊選び、編入学後に自分で学習・研究したいテーマと関連づけながら考えて、レポートを作成してください。パソコン作成でも手書きでもどちらでもかまいません。</p> <p>レポートは、編入学後の4月10日までに社会学専攻共同研究室に提出してください。</p> <p>レポートの冒頭に、氏名と課題図書名を明記してください。なお、レポートの書式は、A4用紙1枚とし、課題図書の内容の要約と自分の意見を800字を目安に記述してください。</p> <p>①永吉希久子著『移民と日本社会 データで読み解く実態と将来像』中公新書 900円＋税 ②天野正子・石谷二郎・木村涼子 著 『モノと子どもの昭和史』平凡社 1,400円＋税 ③橋本健二 著 『新・日本の階級社会』講談社現代新書 900円＋税 ④朱野帰子 著 『わたし、定時で帰ります。』新潮文庫 590円＋税 ⑤若桑みどり 著 『お姫様とジェンダー アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』ちくま新書 780円＋税 ⑥林 香里 著 『メディア不信 何が問われているのか』岩波新書 840円＋税 ⑦菅野 仁 著 『友だち幻想 人と人の<つながり>を考える』ちくまプリマー新書 740円＋税 ⑧仲村和代・藤田さつき 著 『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実』光文社新書 880円＋税 ⑨磯野真穂 著 『ダイエット幻想 やせること、愛されること』ちくまプリマー新書 840円＋税</p>
	社会・臨床心理学専攻	<p>社会・臨床心理学専攻のホームページに課題の情報を載せた編入学予定者向けのページを設けます。そのページにアクセスして、課題に取り組んでください。編入学後のクラス別ガイダンス時にクラス指導主任に提出してください。</p> <p>大妻女子大学ホームページ http://www.otsuma.ac.jp/ 人間関係学部ホームページ https://www.hum.otsuma.ac.jp/ → 【社会・臨床心理学専攻】のページへ</p> <p>※上記URLにアクセスできない場合は、大学名・学部名で検索してください。</p>
	人間福祉学科	<p>以下の課題図書の中から1冊選び、編入学後に学習・研究したいテーマと結びつけてレポートにまとめてください。パソコン作成でも手書きでもどちらでもかまいません。</p> <p>レポートは、編入学後、最初のクラス別ガイダンス時にクラス指導主任に提出してください。</p> <p>レポートの冒頭に、氏名と課題図書名を明記してください。なお、レポートの書式は、A4用紙、文字数は800字以上1,000字未満とします。</p> <p>①阿川佐和子 著 『聞く力 心をひらく35のヒント』文春新書 800円＋税 ②宮本節子 著 『ソーシャルワーカーという仕事』ちくまプリマー新書 780円＋税 ③高谷 清 著 『重い障害を生きるということ』岩波新書 760円＋税 ④渡辺一史 著 『こんな夜更けにバナナかよ』文春文庫 880円＋税 ⑤佐藤幹夫 著 『ルポ認知症ケア最前線』岩波新書 800円＋税 ⑥上野千鶴子 他 編 『ケア その思想と実践2 ケアすること』岩波書店 2,200円＋税 ⑦結城康博 著 『介護 現場からの検証』岩波新書 780円＋税 ⑧山野良一 著 『子どもの最貧国・日本』光文社新書 820円＋税 ⑨梁 石日 著 『闇の子供たち』幻冬舎文庫 686円＋税 ⑩上野一彦・市川宏伸 著 『図解 よくわかる 大人のアスペルガー症候群』ナツメ社 1,500円＋税 ⑪中村文則 著 『何もかも憂鬱な夜に』集英社文庫 400円＋税 ⑫池上 彰 著 『池上彰の新聞勉強術』文春文庫 620円＋税 ⑬ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス 著 石井千春 訳 『子どもが育つ魔法の言葉』PHP文庫 552円＋税 ⑭岩波 明 著 『発達障害』文春新書 820円＋税</p>

編入学予定の 学部・学科・専攻	各学部・学科・専攻からの準備学習等
比較文化学部 比較文化学科	<p>編入学後に3つの文化コースに分かれて勉強することになります。希望する文化コースが以下に推薦するものを、購入するか図書館を利用して2冊読んで、予備知識を蓄えておいてください。なお、第1外国語の英語と第2外国語が必修となります。英語については、復習をしっかりとっておいてください。第2外国語については、これまでの修得単位を考慮し、どの言語を選択するか考えておいてください。</p> <p>○アジア文化コース</p> <p>①小島晋治・丸山松幸 著 『中国近現代史』 岩波新書 絶版 ②高島俊男 著 『中国の大盗賊・完全版』 講談社現代新書 800円＋税 ③小倉紀蔵 著 『心で知る、韓国』 岩波現代文庫 1,240円＋税 ④若桑みどり 著 『お姫様とジェンダー アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』 ちくま新書 760円＋税 ⑤伊豫谷登士翁 著 『グローバリゼーションとは何か 液状化する世界を読み解く』 平凡社 720円＋税</p> <p>○アメリカ文化コース</p> <p>①中島平三 編 『ことばのおもしろ事典』 朝倉書店 7,400円＋税（興味ある5項目を読む） ②有賀夏紀・油井大三郎 編 『アメリカの歴史 テーマで読む多文化社会の夢と現実』 有斐閣アルマ 2,200円＋税 ③丹治めぐみ・佐々木真理・中谷崇 著 『知っておきたいアメリカ文学』 明治書院 700円＋税</p> <p>○ヨーロッパ文化コース</p> <p>①服部良久等 編著 『大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]』 ミネルヴァ書房 2,800円＋税 ②小山哲等 編著 『大学で学ぶ西洋史 [近現代]』 ミネルヴァ書房 2,800円＋税 ③アイリーン・パウア 著 三好洋子 訳 『中世に生きる人々』 東京大学出版会 絶版 ④内藤正典 著 『ヨーロッパとイスラームー共生は可能かー』 岩波新書 780円＋税 ⑤脇阪紀行 著 『欧州のエネルギーシフト』 岩波新書 800円＋税</p>

—「編入学予定者を対象とした準備学習」に関する問い合わせ先—

お問い合わせは、以下の研究室にお願いします。

各学科の研究室名			問い合わせ先
家政学部	被服学科	被服学科共同研究室	03-5275-6083
	食物学科	食物系共同研究室 2	03-5275-6141
	児童学科	児童学科共同研究室 2	03-5275-5945
	ライフデザイン学科	ライフデザイン学科共同研究室	03-5275-6784
文学部	日本文学科	日文・国文共同研究室	03-5275-6028
	英語英文学科	英文共同研究室	03-5275-6068
	コミュニケーション文化学科	コミュニケーション文化学科共同研究室	03-5275-6116
社会情報学部	社会情報学科	社会情報学部共同研究室	03-5275-6940
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	社会学専攻共同研究室
		社会・臨床心理学専攻	社会・臨床心理学専攻共同研究室
	人間福祉学科	人間福祉学科共同研究室	042-372-9198
比較文化学部	比較文化学科	比較文化学部共同研究室	03-5275-6420